

# 安全報告書

2024



富士急安達太良観光株式会社

ごあいさつ

日頃よりあだたら高原リゾートをご利用頂きまして、誠にありがとうございます。

当社は「安全の確保」を企業行動規範に掲げ、何よりも安全を第一優先と考えております。

この安全報告書は鉄道事業法に基づき「輸送の安全確保をするための現状」と「安全性向上のための取組」についてまとめたものです。ご高覧いただくとともに今後ともあだたら高原リゾートをご利用くださいますようお願い申し上げます。

富士急安達太良観光株式会社

代表取締役 渡辺 康治

## 【安全方針】

### 1. 安全はすべてに優先

120%の安全確保に努め、お客様に安全・安心をお届けします。

### 2. 法令及び諸規則の順守

法令及び諸規則の順守はもとより、良識を持って誠実に行動します。

### 3. 常に安全の維持・向上

常に安全を維持・向上させるため、必要なチャレンジを惜しみません。

### 4. 自ら考える組織

自ら考え、問題意識を持ち、問題を発見し解決し、成長発展することで、安全確保に全員で取り組みます。

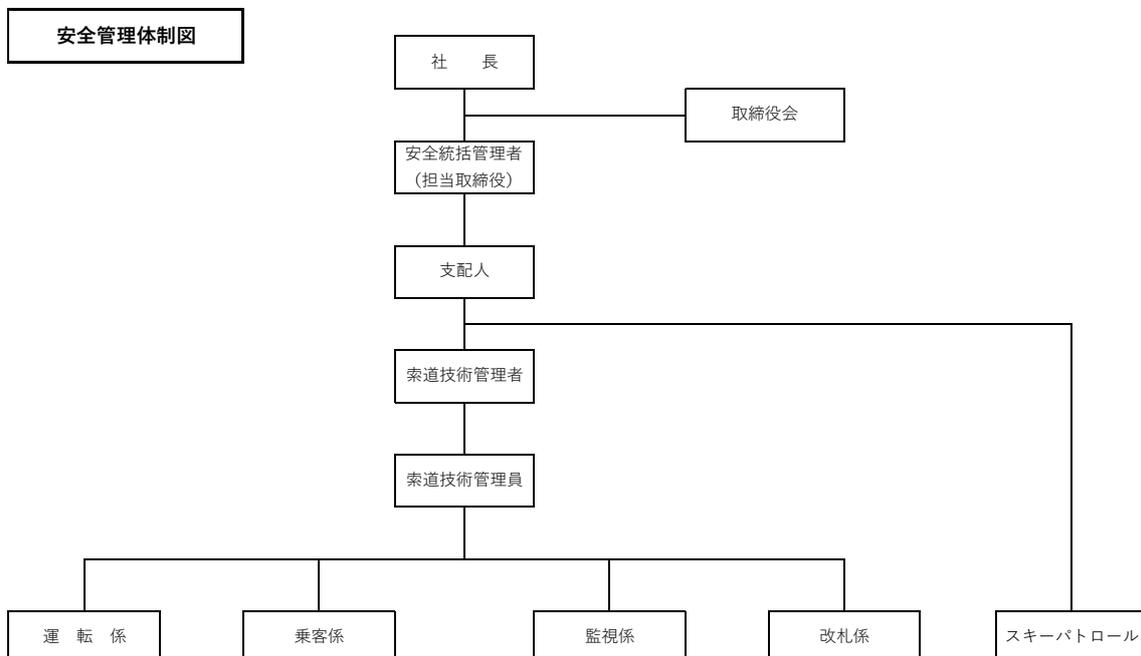
### 5. 顧客を意識した事業活動

顧客の意見に耳を傾け、安全・安心なサービスを提供します。

## 【2024年度 安全目標・安全重点施策】

- ・ 索道運転事故0件、インシデント0件
- ・ 法令・規程の解釈過誤による違反 0件
- ・ 訓練実施による非常時の安全管理体制強化
- ・ 自己の安全維持向上
- ・ 5S活動推進
- ・ 気象変化による安全運行

## 【索道事業安全管理体制図】



## 【安全管理の方法】

毎月の自社安全会議のほか、富士急行・富士急グループ索道事業所が出席する索道グループ安全会議に出席しヒヤリ・ハット、施設の整備、教育訓練などの意見交換を行い安全の向上を図っています。

また、他事業者において発生した事故並びにインシデント事例を職員、係員間で共有し事故防止に繋げています。

経営者及び安全統括管理者は定期的に現場を巡視し、係員から直接意見を聴取し施設の改善等に繋げています。

自社教育訓練には、社長及び安全統括管理者も立会い、意見を交換し救助員の技術力向上にあたっています。

## 【安全に関わる取組】

### 1. 工 事

点検結果や使用状況に基づき、索道施設のオーバーホール工事を実施しております。主な工事は下記となります。

- ・ロープウェイ受索装置オーバーホール 2号支柱
- ・ロープウェイ油圧シリンダーオーバーホール
- ・ロープウェイ山麓駅電源切替盤更新工事

- ・ロープウェイ山頂駅受変電設備整備工事
- ・ロープウェイガイドレール補修工事

## 2. 異常時における訓練と教育

異常時における救助訓練とシーズン前にはリフト係員へ安全教育を行っています。

また、2023年度は消防本部北消防署と合同でロープウェイの救助訓練を行い異常時での対応と救助方法を共有いたしました。





## 【ご 報 告】

・ 2023 年度における事故・障害について

索道運転事故 0 件 インシデント 0 件

### お客様へのお願い

ロープウェイ・リフトご利用の際は安全上、係員の指示に従いご利用をお願い致します。

みなさまのご協力をお願い致します。

### ●ご連絡先

安全報告書へのご意見、当社取組へのご意見、お問合せは下記へ  
お願い致します。

T E L 0243-24-2331 E-MAIL [adatara@fujikyu.co.jp](mailto:adatara@fujikyu.co.jp)